

令和3(2021)年度山口市市民活動支援センターさぽらんて事業報告

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

I 委託契約に基づく事業報告

1. 山口市協働推進プランの位置づけ（抜粋）

(1) 目指す協働による地域づくりの姿

地域を思い、人々が集い行動する「地域経営」へ
～共に話し、共に汗をかく～

(将来にわたり安心して暮らし続けることのできる地域社会を目指す)

地域経営の定義

地域全体で地域の将来ビジョンを共有し、地域の課題解決に向けて地域内外の様々な団体が参加、協議し、役割分担しながら、地域の持てる資源（人、もの、金、知恵）を有効活用して地域を動かし、持続的に地域の暮らしを支えていくこと。

(2) 前期推進計画

基本事業2 市民活動の育成と支援の強化

推進項目① 市民活動団体への支援の強化

- ・新たな基金の創設、ガバメントクラウドファンディング等を活用した新たな財政支援制度の検討
- ・NPO 法人の新規設立促進、安定的運営の支援
- ・市民活動支援センターを中心に、市民活動団体の人材育成に向けた取り組みを推進

② 市民活動団体と市との連携体制の構築

- ・市民活動団体と市の担当課等との円卓会議、話し合いの場づくり

③ 市民活動支援センターの機能強化及び環境整備

- ・地域と市民活動団体とのマッチング
- ・地域住民が市民活動に参画するためのきっかけとなるプログラムの作成
- ・子どもや若者の社会貢献活動への参加促進プログラムの作成
- ・幅広い世代の市民が交流できる市民活動支援センターの環境整備
- ・市民活動支援センターを中心に、高校生や大学生に対して、地域や市民活動等のボランティアのマッチングを行う仕組みづくりの構築

【基本目標】

市民活動団体からの相談対応、伴走支援を基本に以下を重点テーマとする。

○市民活動への参加のきっかけを提供

- ・大学生インターンシップによる市民活動団体のPR 動画制作による情報発信。
- ・これまで実施した大学生を交えた円卓会議での意見を反映した、SNS を活用したマッチングのしくみづくり。
- ・誰にでも居場所と役割がある地域を目指して、多様な社会参加の入り口となる市民活動への参加情報の収集・発信。

○市民活動と地域コミュニティのつながりづくり

協働推進課と連携し、地域コミュニティのニーズを把握した上で、市民活動団体とのマッチングの推進

やその他の地域支援への協力。

○市民活動団体へのマネジメント支援

- ・寄附など多様な財源確保に向けて、公共の担い手として社会的信頼の得られる事業計画づくりなどの伴走支援を行う。
- ・社会課題のテーマごとに行政との連携・協働に向けた円卓会議の実施。

【With コロナ対策】

令和2年度は緊急事態宣言により、山口市の指示で一時期、休館したが、3年度は感染状況による「貸館利用休止」はあるものの、閉館にはならなかったため、スタッフは感染対策を取りつつ、通常勤務を行った。また、貸館利用ができる時は、入口に手指消毒用の消毒液を備え、また、来館者用に非接触で体温を測れる検温計を設置、空気清浄機による換気など、利用者への感染防止対策を行った。

令和2年度に整備した、リモートワーク等に係る設備等は継続して、活用された。

- ①リモートでの相談対応
- ②登録団体が行うリモート会議・講座のサポート
- ③リモート会議等に必要な備品貸出（Wi fi、タブレット、会議用マイクスピーカー、モニター等）
- ④さぼらんでホームページ上でのボランティア情報の充実

1 施設管理

リニューアル移転して、3年目で、コロナ禍で貸館利用休止4休館指示により4月～5月1か月近くの閉館となる。平常開館となっても、ソーシャルディスタンスで会議室の利用人数の制限、また新たに事務スペースの確保を行い、制約のある中貸館業務を行った。

(1) 開館日

水曜日及び年末年始（12/29～1/3）、祝日を除いた日を基本の開館日としている。新型コロナにより、貸館利用停止（5/30～6/20、8/17～9/26）はあったが、閉館はなかった。

開館日数：267日

相談のみ対応日数：28日（貸館利用停止期間）

休館日数：70日

(2) 開館時間

9：30～18：00

※利用団体の講座などの準備に合わせて、スタッフは9時より出勤

登録団体の時間外利用は柔軟に対応

(3) 各種手続き書類・フォームの配置

①市民活動団体向け

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 登録市民活動団体への提供サービスのしおり | <input type="checkbox"/> 市民活動団体登録・変更用紙 |
| <input type="checkbox"/> 会議利用報告書 | <input type="checkbox"/> ブログ反映機能申請書 |
| <input type="checkbox"/> 印刷機利用カード | <input type="checkbox"/> 機材借用書（貸出） |
| <input type="checkbox"/> 持込みイベント申込書・報告書 | <input type="checkbox"/> インターネット使用簿 |
| <input type="checkbox"/> 窓口業務依頼申請書 | <input type="checkbox"/> ボランティア募集フォーム |

②内部用

- | | | |
|---|-----------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 相談内容入力フォーム | <input type="checkbox"/> 機材貸出予約簿 | <input type="checkbox"/> 拠点利用フォーム |
| <input type="checkbox"/> 日計表（日別集計表・累計表・月別平均表） | <input type="checkbox"/> 職員業務フォーム | |

※内部用書類は、Kintone アプリを作成し、共有する仕組みを構築

2 普及・啓発及び情報収集・提供

積極的に情報収集を行い、市民活動の意義、社会課題の共有というメッセージ性を大切に発信した。商店街にある拠点を活用し、入り口付近に通りから見えるようにボランティアコーナーを新たに設置。その他、団体紹介のミニポスター展示をするなど、来館される方への普及・啓発も充実させ、ホームページへの支援情報、団体情報、講座レポートなど引き続き情報集積にも力を入れた。

また、市民目線のカジュアルな情報紙「ええやん新聞」を子育て世代の社会貢献意識の啓発を目的として、市内幼稚園、保育園、小・中学校へ配布のほか、全地域への回覧とした。

講座など事業実施後はホームページ上にレポートを掲載するとともに、「円卓会議」など実施後はかわら版も作成し、事後の広報にも努めた。

(1) 市民活動に関わる情報の収集及び整理

- ① 山口市内の市民活動情報…団体ごとの個別ファイルを作成。
- ② NPO 支援情報…全国の支援情報や NPO 関連図書を配置。
- ③ 市外の市民活動情報…全国の支援センターや NPO の情報を配置。
- ④ 助成金情報…年間助成金一覧表を、分野別、締切日別に作成し掲示。

年間スケジュール、募集中の助成金ラックを設置し、探しやすい工夫をした。

- ⑤ ボランティア情報…外から見えやすい入口付近にコーナーに設置した。



(2) 広報紙等の発行

1年間の市民活動支援の事業報告や円卓会議などのかわら版を発行し支援内容を伝える他、山口市まちづくりアンケートにある「機会があれば市民活動をしてみたい(34.1%)」という市民活動予備軍ともいえる市民に対しての啓発紙「ええやん新聞」にも力を入れ、市民と市民活動をつなぐ発信を心がけた。編集作業には市民広報スタッフを巻き込み、社会課題の当事者意識を広げる市民目線を大切にしたい。今年度は、助成金アンケートを基に助成金情報の新たな発信方法(Facebook)を取り入れた。

① さぼらんで事業情報

○ さぼらんでの令和2年度の事業報告ダイジェスト版

【対象】 登録団体・地域交流センター・関係各所

【発行部数】 600部

【形態】 A4サイズ 4P 手刷り

○ さぼらんでの令和3年度の事業方針及び事業一覧

【対象】 登録団体・地域交流センター・関係各所

【発行部数】 600部

【形態】 A5サイズ 4P 手刷り

○ さぼらんでかわら版

さぼらんで事業後に内容をわかりやすくまとめたものを発行

ア. さぼカフェかわら版 ～地域でみつける自分らしい生き方、働き方～

【対象】 市民、登録団体、地域交流センター、関係各所

【発行部数】 700部

【形態】 A4サイズ 4P 手刷り



② 助成金情報

資金難はどの団体でも大きな課題なので、年度初めに「助成金アンケート」を実施し、要望を集め、結果を踏まえて Facebook での発信、助成金豆知識や他団体の声、資金集めの情報などをプラスして発信。

ア. さぼらんてからのおいしい助成金情報の発行

【対 象】 市民活動団体向け 隔月発行（年6回）

【発行部数】 600部

【形 態】 A4サイズ 両面 手刷り

イ. 助成金情報メルマガ

紙媒体では伝えていない情報も追加し、全ての情報の助成元にリンクを張り、毎月メール送信

【対 象】メルマガ登録団体および担当者 29団体 34件

ウ. Facebook タイムラインの活用

Facebook を利用している団体に向けて、助成金情報をシェア。

③ええやん新聞

市民活動予備軍といえる潜在市民を対象とし、身近な社会課題とともに、市民活動や市民主体の取組みを市民目線で発信し、この層の新しい価値観との出会いや気づきを刺激し、まちづくりへの参加・参画のきっかけを創出し、誰もが心豊かに暮らせる山口を目指す市民を増やすことを目的とする。

【編集上の工夫】

- ・リモート取材や会議の活用。
- ・Google フォームやファイル共有の活用。
- ・モニター制度により、読者の声を次号に反映した。
- ・24号、25号とも大学生の取材や、大学生スタッフを巻き込み若い世代の目線も取り入れた。
- ・発送作業ボランティアを募集し、社会貢献の意欲の充実とさぼらんてや市民活動を知ってもらうきっかけとした

【発行内容】

- ・発行回数：年2回（10月1日／2月1日）、号外1回（12月1日）
- ・発行部数：24号…30,000部、25号…30,000部、号外…3,000部
- ・対 象：市民（主に20～50代の子育て世代想定）
- ・配 布 先：市内公立幼稚園、小・中学校、21地域交流センター、子育てひろば、山口市全地域回覧道の駅、山口市内マルキュウ店舗、他関係各所。

【特集内容・テーマ】

今年度は「子どもたちの未来を考える」をテーマに、子どもたちが自立した大人になるために大人がすべき「子どもを見守ること」を考える記事を、子どもたちが生きる未来のためにできることを考える「持続可能な社会（SDGs）」についてを発信した。

また、号外はこれまで12年間ええやん新聞の制作を担ってきた市民広報記者や関係者を取材し、ええやん新聞の歴史や記者の経験談や思い、女性の働き方などについてを掲載した。

<24号>特集：子どもの「やってみたい」を育てる

- ええやんピープル：臼井裕貴子さん（「プレーパークを山口に」実行委員長）
- 親心 vs 子心（特定非営利活動法人もりのこえん、防府市こども遊ばせ隊わいわい、小郡図書館友の会鉢の子）
- レシピ 味噌玉づくり（仁保くらすメイトプロジェクト）
- 目かくしサッカー体験!!（ゲートウェイやまぐち）
- 我が子のおやじから地域のおやじへ（白石小学校おやじの会）
- さぼらんて20周年記念企画（さぼらんて）
- クイズ ・編集後記

<25号>特集：子どもたちに残したい持続可能は社会

- ええやんピープル：白木美和さん（仁保くらすメイトプロジェクト代表）
- 知ろうよ！SDGs!!（アレルギーっ子の会ぼればれ、さくら猫やまぐち、林業女子会@山口）
- わからないことがあっても聞けない不安（国際交流ひらかわの風の会）
- レシピ「マルタバ・トゥロー」（国際交流ひらかわの風の会 レニさん）
- クイズ ・編集後記

<号外>（さぼらんで開設20年、ええやん新聞12周年）ええやん新聞「市民広報記者」を逆取材

これまで12年間ええやん新聞の制作を担ってきた市民広報記者や関係者を取材し、ええやん新聞の歴史や記者の経験談や思い、女性の働き方などについてを掲載した。

【成果】 市民意識の啓発、市民記者の人材育成を以下のとおり評価

■読者アンケート集計

24号.25号	項目	24号	25号
	より身近に市民活動を感じた(理解・関心が高まった)	29.7%	21.1%
	社会課題(特集内容)について考えるきっかけ、共感につながった	32.4%	35.1%
	情報提供を活用	16.2%	14.0%
	はじめの一步につながる勇気、元気、やる気につながった	8.1%	19.3%
	さぼらんでの周知につながった	5.4%	1.8%
	その他	8.1%	8.8%

- ・ちょうど「プレーパークを山口に」実行委員会の署名活動が地域のニュースで取り上げられたとき、ええやん新聞でプレーパークについてをリアルタイムに発信できたので、関心を示す声が多かった。
- ・アンケート集計では、子育て中の人よりも子育てが終わった人たちから「こういった団体の情報を知っておけばよかった」という意見が多く見られ、レシピ記事の感想から食への関心の高さも伺えた。
- ・20周年記念事業のことを掲載したので、さぼらんでやSDGsについて知りたいと積極的に特設サイトを見てもらえた。
- ・長年、地域で活躍している白木さんの顔を見て手に取り紙面を開く人が多かったように感じる。
- ・インドネシアのレシピというこれまでにない切り口での発信が功を奏したのか、外国人支援の記事に関心を持った人が多かった印象。
- ・特集で取り上げたSDGsは今、まさに誰もが気にし始めているが「大きすぎて自分たちには関係ない」と思われていることだと感じた。特に、これまでの60代以上の応募数よりも10代以下の小中学生からの反応が多く、SDGsは子どもたちが関心を持つ内容だったと伺える。そして、感想内容も自分事として捉えていた人が多くいた。

④活動インフォメーション

毎月の市民活動情報の中から一般市民が馴染みやすい情報を選定し、紙媒体として発行。商店街のチラシ入れなど、広く市民の目につくところに配置。

【対象】 市民向け 毎月発行

【発行部数】 偶数月1000部、奇数月570部

【形態】 A4サイズ 両面 手刷り

(3) ホームページ

ホームページへの来訪者が「ボランティア」ワードでの検索が一番多いことから、トップページにボランティア募集を配置している。コロナ禍で、対面よりもネット検索で情報を得やすいように、ボランティア情報を始め、講座レポートやお知らせなど基本情報の蓄積をし、SNS等での拡散に努めた。

■アクセス数は、36,783件。実人数26,707人。アクティブユーザー数：62件/日。

①まちサポ広場（電子図書館）の市民活動団体利用

	令和3年度	令和2年度	令和元年度	H30年度	H29年度	H28年度
利用団体数	322	319	311	311	307	297
更新団体数	41	47	42	52	52	64
年間記事数	1,310	1,460	1,561	1,362	1,766	1,982

登録団体（322）の基本データは全て掲載。

②ホームページ等での情報発信

お知らせ：11件 講座等レポート：7件 さぼろぐ（ﾌﾞﾛｸﾞ）31件 Facebook：89件

（4）SNSの活用

- ①Facebook：さぼらんての近況報告及び団体活動を発信。
- ②Instagram（ボランティア）：主に一般市民に向け、ボランティア募集情報を発信。
- ③Instagram（ええやん）：主に一般市民に向け、ええやん新聞の裏話などを発信。
- ④LINE公式アカウント：登録者に向け、主にさぼらんてでのイベント情報を発信。

	Facebook	インスタ（ボラ）	同（ええやん）	LINE
いいね、フォロワー数	814	281	102	97
年間記事数 2021.4～2022.3	89	24	24	61

（5）情報交流コーナーの活用（「さぼらんて」前面フロア）

- ①市民活動紹介コーナー：団体紹介ミニポスターを作成し掲示。
- ②助成金コーナー：展示場所を前面に出しPR。
- ③NPO法人情報コーナー：NPO法人格取得に向けて情報発信など、掲示が固定化しないようにレイアウトを随時変更するとともに、市民活動等に関する情報を分野ごとに見易くなるよう掲示した。

（6）マスコミ等の活用

報道機関へ広報紙の配布及び事業ごとのプレスリリースを実施。

（7）市役所ロビーなどにおける市民活動出張展示

コロナ禍ではあったが、例年どおり写真やキャッチコピーで団体の活動内容が一目でわかる「市民活動紹介ポスター」など展示し、幅広い市民に向け、市民活動情報の提供を行った。

【展示内容】・さぼらんてポスター ・さぼらんて広報紙（ええやん新聞等）
 ・登録団体活動紹介ミニポスター55団体 ・団体パンフレット28団体
 ・発達障害啓発週間（4月2日～8日）

【展示場所】開催日：令和3年3月23日（火）～4月15日（木） 場所：山口市役所ロビー

3 相談

市民活動支援を中心に多様な相談に対応した。特に運営相談はコロナ禍での課題も多くあったが、常に寄り添う支援を基本とし、コロナ禍での各種補助金やオンライン導入に関する相談等にも対応した。また商店街での立地により、市民の活動相談も多く、相談対応や市民活動団体への橋渡しを行った。

（1）相談・問い合わせへの対応

市民の市民活動への参加や市民活動団体の活動充実のために対面・電話・メール、Zoomによる相談に応じ、助言を行い、内容によっては、他機関・窓口を紹介しマッチング。

○相談件数 479件（来所 194件、電話等 285件）

○問い合わせ件数 175件（来所 92件、電話等 83件）

※職員の相談カードに記載された特記事項のあるものの件数は637件（グラフ集計総数）

（2）相談・問い合わせの内容の一覧化

4 人材発掘・養成

市民活動団体の永遠の課題、人材不足・資金不足を解決するための寄付集めや事務力の簡素化、などに焦点を置き講座を実施。また、以前、開催したファンドレイジングやKintone講座については、講座終了後も伴走支援を行っている。

全ての講座において、講座レポートをホームページにアップし、団体支援の情報として蓄積していった。

(1) 講座・セミナーの開催

①活動充実講座

	講座・研修	日付	講師	参加者
1	NPOのための会計基礎講座	7/4 10:00-12:30	(株)FPオフィス縁 代表 中村久枝さん	9団体 10名
2	ボランティア入門講座(全4回)	4/23(2回) 7/17・7/19オンライン	さぼらんて、こども明日花 スタッフ	計41名
3	ワークショップで学ぶSDGs(Zoom)	8/21、8/27 13:00~16:30	NPO法人フードバンク山口 今村主税 理事長	21団体 22名
4	みてみて!私の動画編集	3/8 10:00~12:00	NPO法人あっと 佐々木 さん	4団体 17名

1. NPO法人の会計では適正な会計処理は当然であるが、任意団体においても、助成金や寄付等について、しっかりとした報告をするため、会計の目的を理解し、適切な会計が行えるよう、会計の基礎を学ぶ。
2. ボランティア入門講座は、主に山口大学において、市民活動団体が募集するボランティア活動を紹介する出前講座を、こども明日花プロジェクトのスタッフと一緒にいった。3・4回はコロナ感染拡大のために伴うでオンラインのみ。
3. ワークショップで学ぶSDGsはさぼらんて開設20周年記念事業「わたしからはじまるSDGsマイチャレンジ」に参加してもらう、山口市内の団体23団体と対象に、SDGsを学び、それぞれの団体の活動がSDGsとの関連付けによるSDGsの理解を深め、取組の促進を図った。
4. みてみて!私の動画編集は、情報発信ツールとして主流になっているSNSの中でも動画や映像をうまく取り入れるため、動画発信の得意な団体から、学びたい団体に編集の経緯や方法などをシェアすることで発信力のスキルアップを図った。

(2) 市民活動団体への運営支援

任意団体、NPO法人含めた運営支援やこれから立ち上げる団体への支援などの寄り添い支援に力を入れた。今年度は解散に向けた作業への支援も行った。

①運営支援 4団体(NPO法人2団体、任意団体4団体)へ9回

内容	団体数	回数
団体運営支援(組織、会計、協働など)	1団体	5回
オンライン講演会開催への支援	1団体	2回
解散に向けた作業の支援	1団体	1回
事業、情報発信の相談対応	1団体	1回

②アワードへの推薦

「チャレンジやまぐち!地域貢献賞」など5つのアワードに5団体の推薦を行った。

(3) 企業×NPOのつながりづくりプロジェクト「支え人。」

7年目を迎えて、閉業した個人事業主の方があったものの、それぞれNPOと企業のつながりは深く安定し、よいパートナーとなってきている。

【2021 年度実績】

寄付金総額 88,624円

5年間の寄付総額 1,609,946円

エントリーNPO法人：①認定NPO法人こどもステーション山口

②NPO法人あっと

協力企業：① (株)メルシー

② 木のおもちゃ専門店 リンドヴルム

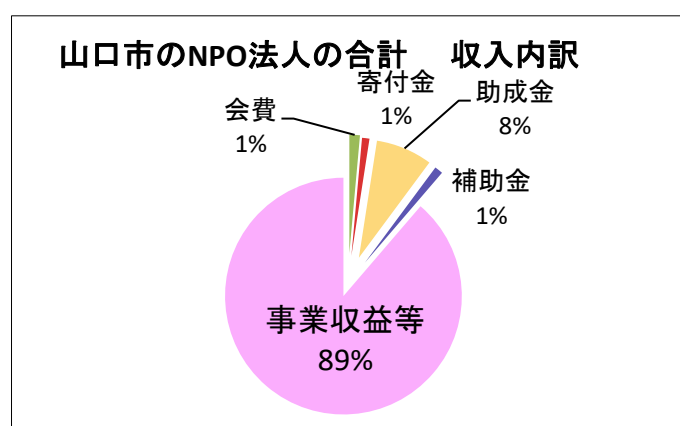
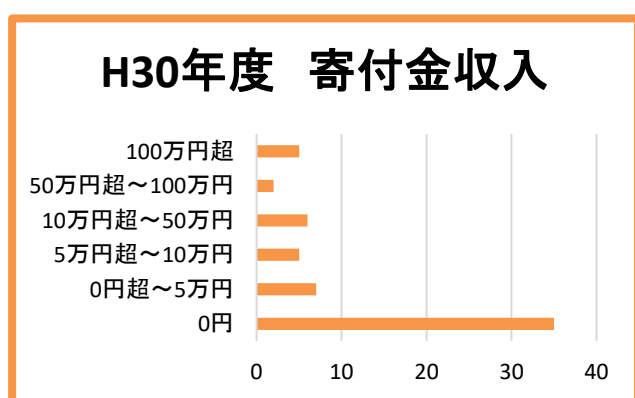
③ ポーラ Sweet

④ (株)モリイケ

⑤ (有)BAY TOKYO

その他の連携：NPO法人山口せわやきネットワーク（こども明日花プロジェクト）への「こどもの未来応援企業」提携企業3社、自動販売機設置企業4社

【参考】山口市内のNPO法人のリアル



山口市内に主な事業所を置く NPO 法人 80 法人についての調査。平成 28 年の改正 NPO 法に基づく公告義務を果たしている NPO 法人は 8 法人に留まり、今後指導の必要性がある。

寄付金のない NPO 法人が 35 団体と半数以上を占める。年間 100 万円以上の寄付金収入のある団体は 5 法人にとどまっている。収入については、介護サービスや委託などの事業収集が 90%を占め、寄付金については 1%にとどまり、多様な財源確保には程遠い現状がある。

(4) インターンシップ推進事業

山口県インターンシップ推進協議会からの受入れは、コロナの影響で 2 名のみを受け入れた。

■推進協議会からの受け入れ 1 回目(2 名、5 日間)

○学 生 山口大学経済学部 3 年(女子)、同人文学部 2 年(女子)

○期 間 令和 4 年 2 月 14 日(月)～令和4年 2 月 19 日(土)

○受入団体 協力団体 6 団体]

※推進協議会からの受入(3名、5 日間)は、コロナ感染拡大により、中止した。

(5) 学生による動画作成事業

令和 2 年度から始めたによる動画作成を継続し、オリエンテーション、団体選定、撮影・取材、編集、団体王レビュー、Youtube に公開(さぼらんで特設ページ)、に取り組んだ。

■以下の団体を取材し、5分程度の構成を考え、編集作業をおこなった。

○山口県ポッチャ協会 ○.Style(ドットスタイル)

○ゲートウェイやまぐち ○囲炉裏の会

○アレルギーっ子の会ぼれぼれ ○ママバンド①親の会カフェ～起立性調節障害の親の会～

(6) ボランティア募集の発信強化

さぼらんてへの相談のうち、「ボランティア活動をしてみたい」が1割あり、コロナ禍でボランティアが集まりにくい団体にもニーズがあることから、引き続き、ボランティア募集の情報発信に努めた。

① ホームページで市民に発信

トップページに新情報を3件ずつ掲載、表示画面も関連画像を加えて視覚的にわかりやすく、情報も項目ごとに整理して掲載した。また、ホームページのボランティア情報を簡単に印刷できるようにした。

② 拠点で市民に発信

さぼらんて入口に「ボランティアコーナー」を設置して、ホームページのボランティア情報を印刷して、掲示するとともに、持ち帰りできるようにした。活動インフォメーションの中にも掲載した。

③ SNS で発信

ホームページに掲載したボランティア募集情報をさぼらんての SNS (Facebook とボランティア情報に特化した Instagram) でも発信し、市民や団体へからも拡散できるようにした。

5 協働促進・ネットワークに関する業務

(1) さぼカフェ

地域における様々な課題を行政や関係機関、NPOなど団体や個人が一堂に会して、情報共有や課題の分析、それぞれの強み・弱み、解決に向けた協働や連携の在り方などの検討を行う「地域円卓会議」としてのさぼカフェについて、2つのテーマを掲げて実施した。

(テーマ1) 地域猫・保護猫～人と猫の幸せな共存のために～

第1回 日時：2021年8月13日(木) 13:00～15:00 会場：さぼらんて会議室

参加者：12名(5団体6名、行政3名、さぼらんて他3名)

内容：・猫問題を軽減するための先進事例紹介
・個別ワーク：現在の猫の不妊・去勢手術費助成制度活用のアイデア出しほか

第2回 日時：2021年9月14日(火) 13:00～15:00 会場：さぼらんて会議室

参加者：6名(3団体4名、行政1名、さぼらんて1名)

内容：・前回の振り返り
・山口大学吉田キャンパス一斉 TNR についての説明
・事例検討ケースワーク、まとめ

(テーマ2) 言葉や文化を超えて、誰もが住みやすいまちにするには

第1回 日時：2021年9月28日(火) 13:00～16:00 会場：さぼらんて会議室

参加者：11名(7団体6名、行政、さぼらんて)

内容：・各団体活動紹介
・団体の強みと課題の発表

第2回 日時：2021年8月10日(火) 13:00～16:00 会場：さぼらんて会議室

参加者：12名(6団体6名、行政、さぼらんて)

内容：・外国人に関する山口県の現状とやまぐち外国人相談センターでの相談内容
・ワークで事例抽出、設問の検討 など

上記の内容をまとめたかわら版を発行。

(2) さぼらんて開設20周年記念事業

① 「わたしからはじまるSDGsマイチャレンジ」

ア 目的 さぼらんて開設20周年記念事業として、最近、普及しつつあるSDGsと山口市内の活動団体を結びつけるとともに、企業の協力も得て、市民が参加することで、団体間のネットワークや企業や個人を巻き込んだ「市民活動」の進展を図ろうとするもの。

イ 内容 「一人ひとりのまちづくり意識の向上」「活動の展開」「参加の場の提供」を目的に市民活動支援センターを設置して 20 年周年を記念して、コロナ禍にありながらも、まち全体で地域課題に取り組みをすすめるため、近年注目の集まる SDGs と SNS を組み合わせ、誰でも参加、アクション出来るチャレンジ企画を実施した。

ウ 実施 「ワークショップで学ぶ SDGs」（別添）に参加の 23 団体+2 団体が、SDGs 目標達成のために誰でもアクションできるチャレンジメニューを提案。子どもから大人まで誰でも参加でき、参加者は SNS もしくは専用フォームからチャレンジを実践してその内容を写真にメッセージを添え投稿。入賞者には協賛企業より賞品を授与。

- ・企画名：わたしからはじまる SDGs マイチャレンジ
- ・実施期間：令和 3 年 10 月 1 日（金）～令和 3 年 11 月 30 日（火）の 2 ヶ月間
- ・対象：SDGs に関心のある方なら誰でも（但し、マイチャレンジ賞の対象は賞品を取りに来られる山口市近郊にお住まいの方に限る）

エ 結果 チャレンジ投稿数 602 投稿（実人数 138 人）

オ 実施ポイント

- ・特設サイトを開設し、投稿内容の集積と情報発信を強化、進捗に合わせて併せて 3 回修正した。
- ・SDGs や社会貢献に力を入れている地元企業の取り組みについて取材し、紹介動画を作成した。
- ・Instagram、Twitter からの投稿を推奨し、情報の拡散やムーブメントを図った。
- ・チャレンジメニューを考案するにあたり、団体には参加のハードルを最大限に低く設定した「誰でも」「いつでも」「何度でも」できる視点を取り入れてもらい、緩やかではあるが、習慣化しやすい行動変容を目指した。
- ・協賛企業からのプレゼント付きの賞を準備、ゲーム性を持たせることで参加の間口を広げた。
- ・自分ごと化を促進するために、「わたしから」とタイトル付けした。また、SDGs がより実生活とつながりを感じられるよう、地元 NPO が取り組む身近な課題を 17 のゴールごとに発信した。

② さぼらんで 20 周年記念紙作成

ア 目的 さぼらんでが開設 20 周年を迎え、これまでの活動の記録を整理し、関係者に配布した。

- イ 内容
- ・A4 巻き 3 つ折り 6 P のパンフレットの作成（両面カラー 1000 部発行）
 - ・年表及び関係者コメント
 - ・20 周年に寄せて（団体関係者からのメッセージ）
 - ・特設サイト内特集ページ「20 周年記念紙インタビュー」元スタッフ等の声を動画公開

（3）その他地域づくり関連事業

①地域協力事業

新型コロナの影響で地域ワークショップなどへの参加は実績なし。

（4）その他のネットワーク

- ① 関係各所との連携に向けて、以下のとおり関係会議等に参加。

【市民活動支援県域会議等】

日付	会議名	主催	場所	参加者
2021/5/27	県民活動ネットワーク会議	県民活動支援センター	Zoom	2 名
2022/3/3	県民活動ネットワーク会議	県民活動支援センター	Zoom	1 名

【審議会等】

日付	会議名	主催	場所	参加者
2021/6/28	域外プロボノワーカー受入れ団体審査会	山口県	山口県庁	1 名

6 市民活動団体事務局支援

専属の職員や拠点を持たない団体が活動しやすいように支援。

(1) 市民活動団体登録制度の運用

○2021年度末 登録団体数：322団体（前年度319団体）

＜NPO法人41（内認定NPO法人4）団体、
その他の法人7団体、任意団体270団体＞

新規登録団体数：5団体

解散団体数：2団体

(2) 登録団体へのサービス提供

①場の利用による支援

- ・団体BOX利用：要望のあった団体に、その都度設置した。

利用団体数：24団体

- ・会議室の提供：利用件数：342件

利用団体数：44団体

- ・市民活動団体持ち込みイベントへの提供

利用件数：119件（延べ利用日数160日）

利用団体数：18団体

- ・印刷機材の提供：利用件数：157件

利用団体数：35団体

②事務局機能の代行による支援

郵送物等の受け取り、イベント・講座等の「連絡取次窓口」として、市民活動団体事務局機能を一部代行。イベント・講座等の「連絡取次窓口」利用件数：18件

③広報支援

- 「さぼらんての広報紙」発送時の同封サービス

「さぼらんての広報紙」送付時に、登録市民活動団体の情報紙やチラシを同封して送付した。

なお、送付作業への協力を得ることで、協力団体同士の情報交換を併せて実施。

利用団体数：18団体（偶数月発送作業）

- マスコミ等への広報活動の助言

市民活動団体行事等において、随時、マスコミ等への記者配布等の助言を行った。

- ホームページの団体行事カレンダーへの掲載

持ち込まれた団体のイベントチラシなどの情報は全て、ホームページの団体行事に反映した。

④機材貸出による支援

貸出機材件数：357件

□ワイヤレスマイク一式	14件	□マルチプロジェクター	21件
□スクリーン	10件	□パネル	9件
□イゼル	59件	□Wi-Fiルーター	8件
□延長コード	32件	□スピーカーフォン	22件
□モニタ	89件	□台車	33件
□体温計	26件	□その他	27件

(3) コロナ禍におけるオンライン講座・会議等に向けての支援と機材貸出しサポート

市民活動における感染症拡大防止のため、イベントや会議等をオンライン開催に移行する団体への運営サポートのために機材の無料貸し出しを行う。(令和2年度山口県頑張る県活動団体応援事業補助金活用)

① 県内支援者ネットワーク勉強会

オンライン運営マニュアル作成、お試しオンライン会議、運営研修などを通じて、オンライン会議の支援力を高めた。団体からのオンライン会議等の支援は40件以上になる。

② 機材貸し出し

登録団体等には、通常の貸し出し機材に加えオンライン講座等で活用できる機材(以下一覧)を新規に購入。貸出器材について、さぼらんてHPよりお知らせした。

品名(個数)	品名(個数)
マイクスピーカー(2)	LANケーブル10m(1)
タブレット(2)	LANケーブル5m(1)
タブレット台(2)	HDMIスプリッター(1)
三脚付き広角カメラ(2)	HDMI(2m)(1)
モニター(2)	HDMI(10m)(1)
パーティション(5)	ワイマックス(モバイルWi-Fi)(1)
非接触体温計(3)	ドラム式延長コード(2)

7 その他の事業

(1) 館内募金箱の設置

東日本復興支援のため、さぼらんてでは寄付やカンパを募り、山口市内から東日本復興支援活動をする市民活動団体へと配分しました。

寄付金総額 36,333円

寄付先 ①りす会山口
②福島～山口いのちの会
③山口災害救援

上記団体に12,000円ずつの配分

(2) 企業から不織布マスクの寄贈

市内企業から不織布のマスクの寄付があり、以下の団体に配布した(25,000枚)。

■ 配布先団体

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| ①災害支援ネットワーク 6,000枚 | ②山口県子ども食堂ネットワーク(5,000枚) |
| ③ジャマイカOB会(3,000枚) | ③子ども明日花プロジェクト(5,000枚) |
| ④日本語クラブ(500枚) | ⑥平川風の会(500枚) |
| ⑦ドットスタイル(3,000枚) | ⑧フードバンク山口(2,000枚) |

Ⅱ 運 営

1 職員体制

職員の内外研修により市民活動のみならず、地域づくりへの支援力の向上に努めた。昨年度からのコロナ禍におけるオンライン会議や講座などの支援力を高める（Zoom研修など）とともに、感染対策を徹底した施設管理、利用者保護に努めた。貸館利用休止の時期はあったものの、閉館等はなかったため、勤務は通常時と同じく、ローテーション勤務により平日については4～6名、休祭日については2～3名の職員配置を確保し、車の乗り入れ可能な開館1時間前の9時から対応した。

○事業スタッフ6名（常勤6名）、広報スタッフ2名、学生スタッフ7名（インターンスタッフ含む）

○ボランティアコーディネーションカ3級取得者5名配置

＜NPO 法人日本ボランティアコーディネーター協会認定＞

○NPO 法人事務力検定初級4名配置

2 意見聴取

「さぼらんで」への意見・要望を、下記のとおり随時聴取し、運営の参考とした。

○市民活動団体来所時及び相談対応時における意見の聞き取り。

○「さぼらんでだより」同封作業時に協力市民活動団体から聞き取り。

○講座開催時の参加者アンケートによる把握。

○ええやん新聞における「モニタースタッフへのヒアリング」、「読者アンケート」を実施し、これまで市民活動と関わりのなかった人の意見の聞き取り。

○団体訪問や取材時における団体運営課題などの聞き取り。

○インターンシップ時にもワークを行い、幅広い世代の人と社会課題意識の掘り下げ。

3 定例連絡会等

「さぼらんで」設置者の山口市協働推進課と運営NPO職員と、よりよい市民活動支援に向けて、連絡会を実施。事業実施におけるスムーズな連携、市民活動支援の意義の共有などができた。

【協働推進課情報交換会等】

日付	内 容	担当課	さぼらんで
2021/5/18	年間スケジュールについて	2名	5名
2021/8/19	事業の進捗について	2名	5名
2021/12/20	事業進捗状況と予算について	2名	5名
2021/2/7	山口市協働推進プラン(後期計画)について	2名	5名
2022/3/17	年間事業進捗と次年度事業について	2名	5名

4 職員研修

中間支援力向上のために、内外多数の講座・研修に参加し、参加後は職員間で内容を共有する時間を持った。今年度はコロナ影響で殆どがリモートで参加できるもので、「ファンドレイジング日本」「日本

ボランティアコーディネーター研究集会」などに参加できた。

研修等一覧

① 運営支援のための講座・研修等 (17回のべ22名参加)

日時	内容	主催	場所	参加者
2021/4/25 2021/4/26	2021年度・中間支援組織・支援センター役員向け合同研修会	中国5県中間支援組織連絡協議会	オンライン	2名
2021/4/26	SDGsの地域での推進と目標達成のために中間支援組織にできる行動は？	中国5県中間支援組織連絡協議会	オンライン	1名
2021/5/14	福島と島根で考える【地域・高校教育コーディネーターの資質・能力を考える公開会議その②】	NPO法人カタリバ	オンライン	1名
2021/6/28	シンポジウム「公益性の高い地域事業活動のこれからのあり方・進め方ー事業活動実施者の立場からー」	未来工学研究所 創立50周年記念 事業事務局	オンライン	1名
2021/7/12	子どもたちの社会貢献を教える案内役～社会貢献教育ファシリテーターになるための基礎研修～(山口)	中国チャプター・ 日本ファンドレイ ジング協会	オンライン	3名
2021/7/20	たねカフェ『描いて場をつくるグラフィック・レコーディング』共著者になってみたよ報告会	NPO法人市民プロ デュース	山口市男女 共同参画セ ンター	2名
2021/7/29	未来の地方を創る「コミュニティデザインの力」	THE OWNER	オンライン	1名
2021/8/28	県民活動団体財政基盤強化セミナー 認定NPO法人の資金調達の事例をもとに寄付収入増加を図るセミナー～認定NPO法人のメリット～	NPO法人やまぐ ち県民ネット21	オンライン	1名
2021/9/1	県民活動団体財政基盤強化セミナー 参加と応援を集めるクラウドファンディング&寄付募集の戦略を学ぶセミナー	NPO法人やまぐ ち県民ネット2 1	オンライン	2名
2021/9/27	令和3年度WAMシンポジウム「NPOと行政との協働の現在地～地域共生社会の実現に向けて～」	独立行政法人福 祉医療機構	オンライン	1名
2021/10/7	NPO事務局 学びの教室「理事の役割」	やまぐち県民活 動支援センター	オンライン	1名
2021/11/15	県民活動団体財政基盤強化セミナーふりかえり会	NPO法人やまぐ ち県民ネット21	パルトピア	1名
2021/12/3	NPO事務局 学びの教室 税務編 「源泉所得税と年末調整」	やまぐち県民活 動支援センター	オンライン	1名
2021/12/12	令和3年度市民公開講座「多頭飼育問題や高齢動物の問題行動等の予防と対策～人と動物の調和のとれた快適な暮らしづくり～」	山口県獣医師会	防長苑	1名
2021/12/25	「やまぐち若者MY PROJECT」リフレクションプログラム	公益財団法人ひ とづくり財団	山口県セミ ナーパーク	1名
2022/1/17	令和3年度 山口市災害ボランティア研修会	山口市社協	オンライン	1名
2022/1/25	山口県子ども食堂・子どもの居場所ネットワーク「スキルアップ事業」研修会	山口県子ども食 堂・子どもの居 場所ネットワ ーク	オンライン	1名